

国際交流ボランティア

豊橋市国際交流協会では4つの分野で
多くのボランティアが活動しています!

❖どのような活動ができるの?

事業企画・運営ボランティア

- ◆「とよはし国際フェスティバル」、「豊橋祇園祭花火鑑賞会」、「豊橋まつり総おどり」、「国際交流サロン」などのイベントの企画と運営
- ◆日本文化紹介(華道、茶道、その他)
- ◆写真・ビデオ撮影
- ◆簡単な作業(会報紙発送等)などを行うボランティアです。

翻訳・通訳ボランティア

協会事業や公的機関、一般の方や団体などからの依頼(営利目的を除く)で、翻訳・通訳をするボランティアです。依頼に基づき、協会はボランティアを紹介します。

ホームステイ・ホームビジットボランティア

姉妹都市・友好都市からの訪問団や外国から来豊する学生などに、家庭に宿泊、訪問する機会を提供するホストファミリーをつとめるボランティアです。

日本語指導ボランティア

地域に在住する外国人に日本語を教えるボランティアです。日本語学習を通して外国人の住民との交流を図ります。



ボランティア紹介

それぞれの分野で活躍しているボランティアを紹介します。

以下の3つの質問に答えてもらいました

Q1: ボランティア活動を始めたきっかけは?

Q2: 印象に残っている体験は?

Q3: ボランティア活動を通して思うことや伝えたいことは?

事業企画・運営

●酒井敏行さん

Q1: 浜松のタクシー会社に勤務していた頃、同僚の日系ブラジル人の青年からポルトガル語を覚えてもらったことを機に「言葉」を手掛かりとした国際交流を進めたいと思いました。

Q2: 覚えたポルトガル語を活かそうとボランティア登録に行った時に協会から日系ブラジル人の橋渡しを依頼され、それが「ぐるっぽいにぼ・らちん」を設立するきっかけとなりました。日本人が外国人とおつきあひするには言葉の理解と国際感覚を身につけることが大切だと感じ、立ち上げた会です。

Q3: 国際交流は外国人と腹をわって話し合い、お互いの文化を吸収し合うことが大切だと思います。まずは、勇気を持って挨拶の言葉から始めてみましょう。



右から2人目が酒井さん

ホームステイ・ホームビジット

●横田恵美子さん

Q1: 前々からホームステイ受入れには興味ありましたが、語学が堪能な方がやることと思っていました。豊橋市国際交流協会の英会話教室を受講して、国際交流ボランティアを知りました。最初は韓国の大学生の2泊3日のホームステイでこの位の期間なら何とかかなと申込みました。ちょうど子供の進学で部屋が空いたことも追い風になりました。

Q2: アメリカの学生さんが着物や茶道が趣味で日本人以上に日本文化に詳しく、教えられることも多かったです。また、すき焼きをした時、生卵が食べられず何もつけずに食べていましたが、私たちが食べているのを見て挑戦してみたら、おいしかったようで、レシピを頼まれ、今ではお気に入りのメニューになっているそうです。

Q3: 語学はできた方がいいと思いますが、身振り手振りで伝わるし、おもてなしの気持ちが大事だと思います。帰国してからもメールでコンタクトしています。誕生日に外国からメールをもらうのは嬉しいです。



明治村にて

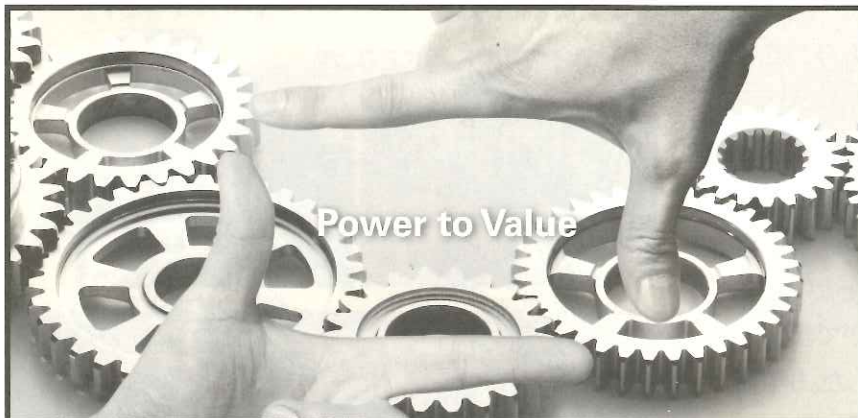
おかげさまで創業80周年



武蔵精密工業株式会社

本社/豊橋市植田町字大膳39-5

<http://www.musashi.co.jp/>



●星野理佳さん

Q1: 私がボランティアとして「にほんごきょうしつ」の門戸をたたいたのは平成11年、ヨーロッパ11か国に単一通貨ユーロが導入された年でした。以前言葉が通じないため、駅員と意思疎通ができずに困っている外国人を見つけ、日本で暮らす外国人が増加する中、日常生活を送るために困らない語学力を身につけるお手伝いができないかと思ったことが活動を始めたきっかけです。

Q2: 平成20年のリーマンショックによる影響です。ピーク時には一クラスに20人程度の受講申込みがあり、限られたスペースで複数のクラスが授業を同時に行うため、声を枯らしたこともありました。しかしその後は、受講者数も安定し、本来のグループレッスンの形を取り戻すことができました。

Q3: ボランティアと言うと、たいそうなことをしていると思われがちですが、自分のできることをできる範囲で行っているに過ぎません。ハードルは決して高くはありません。身近に感じていただける存在となることを願っております。



●田中尊雄さん

Q1: 定年退職後、語学レベルを少しでも維持し、同時に社会的貢献になることを考えました。

Q2: 印象に残っていることは沢山ありますが、中でも日本家庭の外国人主婦で、子供の保育園からの通知書を読めるようになりたいと言って、1対1のレッスンを3年間続けた方がことが最も印象に残っています。2歳と4歳の子供さんを連れて来て、その子たちはお母さんの勉強を我慢強く待っていてくれたものです。

Q3: 年齢と体力の問題でそろそろ引退をとお考えがありますが、生徒さんの熱意と笑顔に元気を頂いて、今でも活動しています。



●木村克己さん

Q1: このボランティアを始めて半年ほどが経ちました。ボランティアのきっかけは多(異)文化交流です。自身のこれからの人生を見つめ直す良い機会として判断しました。

Q2: 言葉やその意味、生活背景などを伝えたいと心から願っていますが、実際の教室活動は学習者の皆さんが期待するような進め方とズレがあったようです。私は毎回冷や汗を掻いていました。今も相変わらずですが…「みんなでもっと楽しむぞ!」を忘れていました。

Q3: 日本語指導ボランティアは学習者の人たちと「日本語を楽しく時間を過ごす」ことが何より大切です。学習者の皆さんには、もっと日本の生活・文化・地域に溶け込んで困り事を減らして欲しいと願っています。そんな中で、「笑いや驚き、そして飽きさせない学習」につなげていけたらと思います。そして協会関係者の皆さんと共に、この「にほんごきょうしつ」がさらに地域に根付くことを願っています。



●ふれあい日本語教室ボランティア一同

Q1: スタッフの方に誘われてボラックパーティーに参加し、以前からしていたホストファミリーの活動の中でも言葉の通じないもどかしさを感じていたので、母国を離れ日本で暮らす方の役に少しでも立ちたいと思いました。

Q2: 遠いところへベビーカーを押して歩いてくる人や、雨の中親子で雨具を着て自転車で来る人など、通ってくる人たちの熱心な姿が印象に残っています。

Q3: 教える私たちも、異文化の人たちと触れ合って学ぶことは多いです。そして、個々の交流をすれば、国や宗教が違ってても人の優しさや温かさは同じ、良い人も悪い人も個人の問題だということが、理屈でなく肌で分かります。草の根で交流することの大切さを痛感します。



国際交流ボランティア大募集! 問合せ: ☎0532-55-3671 E-mail: tia@tia.aichi.jp

生活にファンクオリティ

sala

美しく快適な人間空間づくりを通し、
地域社会から信頼される企業グループとして、
豊かな社会の実現をめざします。

中部ガス株式会社